



荒川中だより

青い雲

教育目標 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

令和7年度 第5号
令和7年9月12日発行
村上市立荒川中学校

2学期は自律の力を高めるチャンス

校長 西村 諭

記録的な猛暑に見舞われた夏休みが終わりました。笑顔と元気な声で登校する生徒の姿から、ご家庭や地域で充実した時間を過ごし、貴重な経験をしてきたことが伺えます。保護者、地域の皆様には、温かい御支援をいただき、ありがとうございました。

夏休み期間中、校内では体育祭の準備活動や吹奏楽部の活動が行われました。また、学校を代表して私の主張大会、いじめ防止こどもサミット、村上市の中学生派遣事業（広島平和記念式典、大阪万博）に参加する生徒もおり、それぞれが大きな学びを得てきました。地域行事では、民謡流しや獅子踊りに参加し、伝統文化に触れる貴重な機会となりました。

8月31日に開催されたあらかわエキマエマルシェでは、3年生の有志がお店のお手伝いやインタビュー活動を通じて地域に貢献する姿が見られました。

『マルシェの様子』→



さて、2学期は体育祭、青雲祭（合唱発表会）があり、生徒が主体となって取り組む行事が続きます。「自分で考え、判断し、決定し、主体的に行動する」機会が増える今学期は、まさに「自律」の力をはぐくむチャンスだと考えています。

2学期始業式では、「自律」をテーマにお話をしました。

「自律」は人がよりよく成長する上で、とても大切な力です。もちろん、自分で考え、判断、決定、行動することで、時には失敗もあるでしょう。しかし、その失敗こそが成長の糧です。失敗しても、「自分で決めて行動できた」と自分を認め、自己決定の経験を積み重ねていくことが大切です。その繰り返しが、人生を自分でコントロールできる力につながっていきます。大切なのは、一度や二度の失敗で止めてしまわないことです。

また、努力してもなかなか叶わない夢は、一人では実現できない夢かもしれません。そんなときは、思いを伝え、信頼している人に頼ることも大切です。いよいよ困ったときは、相談してください。必ず誰かが力になってくれます。それが荒川中学校のよさです。2学期もがんばりましょう。

今学期も、家庭、地域の皆様と連携・協働して、生徒の健やかな成長を支えていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いします。

<お知らせとお願い>

9月20日の体育祭に向けて、生徒は一生懸命準備し練習に励んでいます。当日は、ぜひ多くの皆様にご来場いただき、生徒の頑張りに温かいご声援をお願いいたします。

また、生徒は、体育祭を通じて地域への感謝の気持ちを伝えたいと考えており、地域参加型の「バルーン」を計画しております。なお、その様子等は、株式会社サンプラス下越様のご厚意によりドローン撮影を行います。どうぞお楽しみに！